

平成28年度 指定管理者評価表

【別紙5】

施設名：河内長野市立三日市市民ホール

指定管理者名：HOSグループ（代表団体 株式会社 東大阪スタジアム）

1. 個別評価

評価項目	評価の視点	自己評価	市評価
サービスの提供	施設の設置目的に沿って平等利用が確保されたか。	S	A
	施設の設置目的に沿ってサービスを提供しているか。	S	S
	利用時間、利用日、利用期間は遵守されているか。	S	A
	利用者に対する情報提供、情報発信は適切か。	S	S
	利用の承認、案内等は適切かつ迅速か、また接遇は適切か。	S	A
	利用者のニーズを把握し、改善、工夫を行っているか。	S	S
	施設の利用率は適正な水準にあるか。	A	A
	苦情等の対応は迅速かつ適切か、また市に迅速に報告しているか。	S	S
	指定管理者が行った自主事業は、市民サービスの向上に役立ったか。	-	-
施設等の維持管理	不具合が生じた場合の市への報告は適切か。	S	S
	建物躯体及び設備機器の点検・保守、安全確認等は適切か。	S	S
	修繕は適切か。	A	S
	備品の管理は適切か。	A	A
	清掃、警備、衛生管理は適切か。	S	A
労務状況	サービス提供及び施設の維持管理のため、計画どおり適正な人員が配置されているか。	S	A
	勤務体制が、勤務者の休暇、休憩等の取得が適正か。	S	A
	必要な専門的資格、技術を有する人材を確保しているか。	S	A
	従業員に対して、計画的、効果的な人材育成を行っているか。	A	A
危機管理	緊急時に備えた、体制、対応マニュアル、研修・訓練等は適切か、また、防火、防犯体制の整備、研修、訓練等は適切に行われているか。	A	A
	災害、事故、盗難等の発生時に迅速な対応ができる組織体制と連絡体制になっているか。	S	A
	利用者の安全は確保されているか。	S	A
個人情報	個人情報保護のための体制、書類等の整備・保管、問い合わせ等への対応、研修は適切か。	S	A
	個人情報保護及び情報公開に関する関係法令を理解しているか。	A	A
	万が一、個人情報が流出した場合の対応が検討されているか。	A	A
財務状況	管理に要する収支は適正に保たれているか。	B	A
	支払いの遅滞は生じていないか。	S	A
	使用料、利用料金収入は計画どおりか。収入の増加が図られているか。	-	-
	現金は適正に取扱われているか。	S	A
	経費は縮減されているか、または、縮減に向けての努力がされているか。	A	S
	業務を外部委託している場合、その業務は施設管理の主要な部分以外であるか、過度に外部委託にシフトしていないか。	S	A
その他	省エネルギー、省資源、環境配慮物品等の購入など環境への配慮はなされているか。	A	A
	良好な関係を保つべき関係団体や地域との連絡調整は適切か。	A	A
	管理に要する法令は適正に遵守されているか。	S	A
	市との定例の連絡調整の機会が確保されているか。	S	S
	事業計画書（申請時）および年間事業計画書どおりに管理がなされているか。	A	A

評価欄の説明

- S：協定等の遵守に加え、仕様書より優れた管理が行われた。
- A：協定等を遵守し、仕様書に沿った管理が行われた。
- B：協定等を遵守し、概ね仕様書に沿った管理が行われたが、一部に課題がある。
- C：一部、協定等が遵守できていない。又は、不測の事態等により仕様書に沿った管理ができなかった。

## 2. 収支報告

単位:円

		事業計画A	事業実績B	A-B	前年度実績	備考
収入	利用料金収入	0	0	0		
	自主事業収入	0	0	0		
	物品販売収入	0	0	0		
	その他収入	0	0	0		
	指定管理料	4,888,685	4,888,685	0		
	<b>収入総額</b>	4,888,685	4,888,685	0	0	
支出	人件費	2,006,400	2,008,800	-2,400		
	事務費	99,285	384,654	-285,369		
	管理費	2,533,000	1,040,343	1,492,657		
	自主事業経費	0	0	0		
	リース料	0	0	0		
	その他	250,000	0	250,000		
	<b>支出総額</b>	4,888,685	3,433,797	1,454,888	0	0
<b>収支差額</b>	0	1,454,888	-1,454,888	0	0	

## 3. 総合評価

自己評価
<p>本年度から指定管理者として受託することができ、無事に1年間運営することができました。</p> <p>立ち上げ当初は、前管理者の指定管理停止により、臨時休館や、前管理者からの引継ぎ業務が不完全のまま、運営準備に入り、利用者様の不安や混乱状態が続いたままの運営スタートでしたが、この1年間を通して、少しずつ利用者様、市民の方々の理解を得ることができたと感じております。</p> <p>市様との定期的な協議を実施し、利用者の声や、利用方法の改善、管理システムの提案、備品等のトラブルなど積極的に提案することで早期発見、改善ができる環境ができたと感じております。</p> <p>水光熱費の削減として、照明設備等のLED化を実施しました。昨年度の実績と比べ、電気使用量の削減に大きな効果を上げることができました。</p> <p>次年度は、健康支援センターと同時に自主事業会員の充実と新規自主事業開催の新たな取組みにじゅうてんを置き、安定した収入を月々確保するとともに、利用者のサービスの向上を新たに実施してまいります。</p>
市評価
<p>平成28年度の利用者数は、平成27年度と同水準となりました。しかし、今後、高齢化等の社会的な原因により、利用者数は低下する傾向にあると考えられます。施設のPRを市、指定管理者共に模索していく必要があります。</p> <p>指定管理者から、市民ホールの管理に関して新たな提案があり、そのうちいくつかを実施して頂きました。例えば、各部屋ごとの備品使用可能上限数を定め、利用者間で不公平がでないよう工夫していただきました。また、備品（椅子や机）の事前設置サービスについて、あらかじめ決められたパターンから選択できるようにするなど、合理的なルールを定めることで、業務の効率化や利用者にとって分かりやすいシステムの構築がなされています。</p> <p>一方で、指定管理者による自主事業は、市民ホールの空き状況の都合などにより実施できませんでした。これには、稼働率の高い三日市市民ホールでは、望むように部屋の予約が取れない利用者があることに配慮した、という背景があります。今後は、抽選後に空いている部屋などを有効に使い、自主事業が行われることを期待します。</p> <p>施設・備品の修繕について、指定管理者には定期的・網羅的なチェックを行っていただきました。その結果、故障個所の早期発見や早期修繕がなされました。特に、以前より利用者から指摘のあった箇所について丁寧に対応いただけました。</p>